

今生（こんじょう）の我身（わがみ）

普泉寺 小山 貴大

当に知るべし今生（こんじょう）の我身（わがみ）二つ無し、三つ無し、徒（いたず）らに邪見に堕ちて虚しく悪業を感得（かんとく）せん、惜（おし）からざらめや、悪を造りながら悪に非（あら）ずと思ひ、悪の報（ほう）あるべからずと邪思惟（じゃしゆい）するに依りて悪の報（ほう）を感得（かんとく）せざるには非（あら）ず。

現代語訳

だから、よくよく知っておかなければならないのです。この世に生を受けた自分の身体はたった一つ、二つも三つもあるものではありません。もし、因果を否定する間違った考えにおちいると、この大事な身体で悪業をつくり、悪の報いを身に受けなければなりません。それは全く何の役にも立たぬ無駄なことで、何ともつたいないことではありませんか。また、悪を造っておいて悪ではないと思っ ていたり、悪の報いなんかあるはずがないと、間違った思惟（かんがえ）を持つことによって、悪の報いを身に受けないですむというものではありません。